

株主のみなさまへ
..... Vol.39

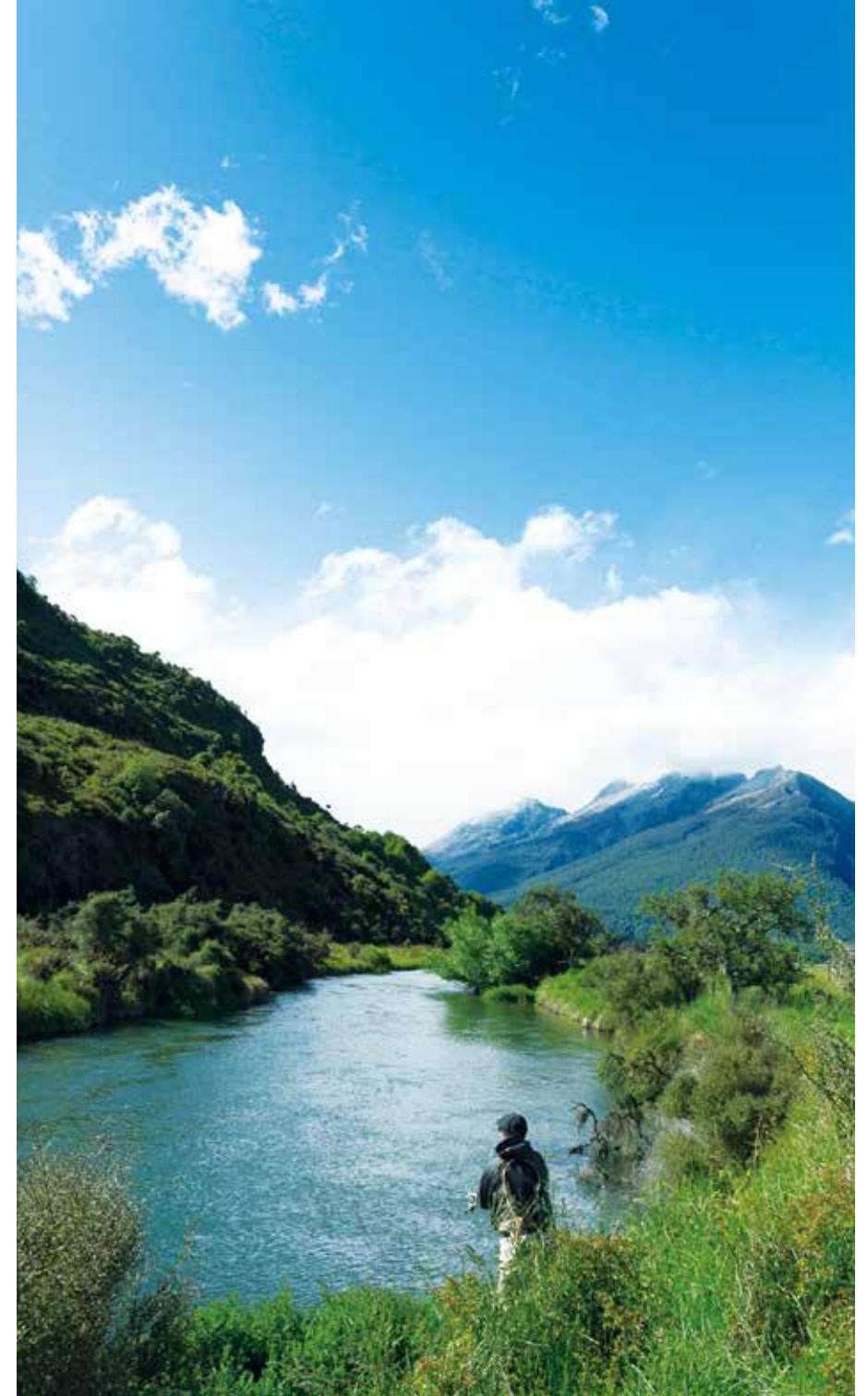
株 主 通 信
第 1 0 8 期
第 2 四 半 期

2014年1月1日～
2014年6月30日

SHIMANO

表紙：ニュージーランド・クイーンズタウンでの釣り風景

SHIMANO





代表取締役社長 鳥野 容三

事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間は欧州では個人消費を中心に内需型の緩やかな景気回復基調を辿りました。6月に入りユーロ高に加えてウクライナ情勢への懸念、原油価格の上昇等の影響により、特に製造業セクターでの減速が目立ちました。米国では雇用の量的改善とともに個人消費が拡大し、企業活動の回復が中小企業にまで広がってきました。

国内においては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見通しより小幅にとどまったものの、景況感は6四半期ぶりに悪化しました。輸出については、海外経済が期待ほど上ぶれなかったため、内需の落ち込みを穴埋めするほどには至りませんでした。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」

を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は156,322百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は30,397百万円（前年同期比43.2%増）、経常利益は29,115百万円（前年同期比18.0%増）、四半期純利益は20,784百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

自転車部品

欧州では5月の天候不順による一時的な販売の落ち込みがあったものの、暖冬による冬季の好調な販売にも支えられ、上半期の小売店での販売は好調に推移しました。米国では非常に厳しい冬という状況下で販売開始が遅れたものの、上半期の小売店での販売は例年並みで終わりました。日本では厳しい冬にも関わらず、小売店でのスポーツタイプ自転車や中高級価格帯軽快車の販売は好調に推移し、消費税増税後も堅調でした。また、中国市場におけるスポーツタイプ自転車は引き続き力強い成長を続けており、他の新興国市場においても堅調な伸びを示しています。

なお、市場在庫については、各地域ともに低めあるいは適正範囲内で推移しております。

このような市況のもと今後の市場動向への期待感に加え、円安による当社製品に対する割安感の追い風を受けたことから多くの注文をいただき、加えてマウンテンバイクコンポーネントの「Alivio」、同じくエントリーモデルの「Tourney XT」、ロードバイクコンポーネントの「105」をはじめとする新製品の販売も順調に推移し、第2四半期の売上は予定どおり達成することができました。

この結果、当セグメントの売上高は125,709百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は28,167百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

釣具

国内市場では、消費税増税の影響で一時的に高額商品を中心に購入を控える動きが見られたものの、5月6月の好天により各地で釣果を耳にするようになるとともに、普及価格帯商品を中心に消費は回復傾向となってまいりました。当社製品においてはスピニングリールを中心に市場での動きが堅調に推移した結果、前年の売上を上回る結果となりました。

一方、海外市場では、新製品の投入効果もあり、欧米市場、豪州市場においても小売店への販売は順調に推移しました。また、アジア市場をはじめとする新興市場においても積極的な販売活動を実施しました。

この結果、当セグメントの売上高は30,404百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は2,237百万円（前年同期比125.7%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は207百万円（前年同期比8.4%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失65百万円）となりました。

中間配当のご報告

当社グループは、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題ととらえており、安定的な配当の維持・継続とともに

に、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期から9円増配の1株当たり52円50銭（うち特別配当46円25銭）とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期から18円増配の1株当たり105円を予定しております。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、欧州は輸出・設備投資主導の改善傾向で推移しているものの、南欧諸国の景気低迷によりペースは緩やかなものにとどまる見通しです。一方、アジア圏は緩やかな景気拡大が見込まれるものの、中国は過剰投資是正の影響で減速傾向が続くものと予想されます。米国経済は堅調に推移し、雇用の拡大が見込まれます。

国内においては、政府の経済対策や家計の底堅い消費に支えられ、消費税増税による景気の反動減は一時的にとらえています。輸出では、海外経済の回復や円安を背景に増加傾向にあるものの、本格的な回復は見込みにくい状況と予想されます。

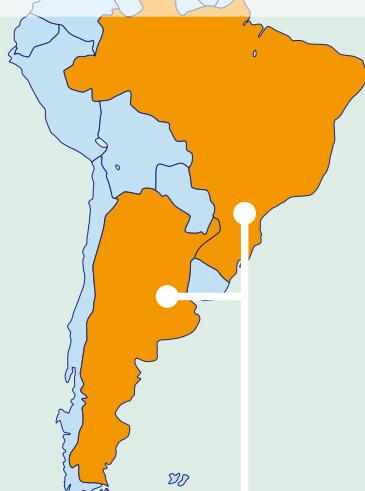
このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成26年4月22日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高310,000百万円、営業利益58,000百万円、経常利益57,000百万円、当期純利益41,000百万円とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年9月

日本から一番遠い地球の裏側のお客様へ、より良いサービスをスピーディーに提供する目的で2007年にシマノは南米に営業拠点を設立しました。今回は、南米におけるシマノの取り組みについてご紹介します。



SHIMANO LATIN AMERICA REPRESENTACAO COMERCIAL LTDA. (略称：SLA)

- 設立 : 2007年
- 所在地 : ブラジル サンパウロ市
アルゼンチン ブエノスアイレス市
- 設立目的 : 完成車メーカー様、販売店様およびサイクリング愛好家へのサービスとサポートの提供
- 役割 : 自転車部品販売
(今年1月から南米市場の釣り事業も担当)

★ 南米ならではの活動のポイント

SLAでは担当エリアの新興市場に対して単なる交通/輸送手段としての自転車だけではなく、スポーツやレジャーの道具としての新しい価値、自転車文化を現地で根付かせる活動を重視しています。

特に成長著しいマーケットの中でシマノブランドをよりよく認知していただくため、積極的にイベントや無償のテックセミナー※を開催しています。参加者や、開催される国と地域は年々増加しており、これからも自転車文化の普及に努めていきます。



無償テックセミナーの様子



サンパウロ市内の自転車専用レーン

※ メカニクの技術向上を目指すセミナー

★ シマノ・ショート・トラック

SLAが主催するマウンテンバイクのシリーズ戦です。2014年もブラジル、アルゼンチン、チリ、メキシコ、コスタリカ、パナマ、コロンビア、エクアドルの計8戦を開催しています。観客が観やすいようにレイアウトされた1km未満の短いコースで行うスピーディーで臨場感のあるレースとなっており、開催国によってはTV中継もされるなど「魅せるレース」としてステータスが上昇しています。南米各国のトップライダーがこぞって参戦しています。



チリのサンチアゴ市中部のショッピングモール内にて開催

★ 若者へのメカニック職業訓練の提供

自転車文化を根付かせるためのテックセミナー※の一環として、ブラジル・リオデジャネイロの若者たちに無償で1週間の自転車のメカニックの基礎トレーニングを提供しています。これまでに2度実施し、多くの方々が受講しました。自転車のメカニックという職業につながる専門技術の習得と、自転車文化の振興を図るプログラムです。また、この都市内でのマウンテンバイク競技イベントについてもサポートを実施しています。

★ シマノ・フェスト

ブラジルで始まった自転車と釣りの体験イベントシマノ・フェストは、4年目である昨年にはブラジル・サンパウロで9,000人、アルゼンチン・ブエノスアイレスで10,000人を集める大イベントに成長しました。自転車レースだけでなく家族でも楽しめる自転車乗り方教室にはじまりコンサートや気球体験、食事のサービスなど数々のアトラクションを用意し、シマノブランドの認知に貢献しています。



大人から子どもまで楽しんでいます。



手に職をつけて「一生働ける仕事を見つけたい」と皆、真剣です。

● SHIMANO XTRが電子制御変速システムを搭載して新登場



マウンテンバイク ワールドカップ第4戦を勝利した当社スポンサーチームのJulien Absalon選手

2014年5月、ドイツAlbstadtで行われたマウンテンバイクのワールドカップ第4戦にて、シマノのマウンテンバイクコンポーネント最高峰に位置付けられたモデルSHIMANO XTRに、自社初のマウンテンバイク用電子制御変速システムを搭載したDi2仕様を発表しました。近年のマウンテンバイククロスカントリーレースは、起伏変化が激しいコースレイアウトになっているため、ライダーは高い頻度で前後の変速操作を強いられています。シマノは走行中のこのようなストレスを取り除

くため、1つの変速レバーで前後の変速機が連動して作動し、常に駆動効率の良いギアを選択できるシンクロシフトをはじめとした機能を実現しました。また、当レースにおいてシマノスポンサーライダーが優勝を飾り、マウンテンバイクレースにおいてもこのスペックの優位性を実証し最高のデビューを飾りました。これからも私たちは、ライダーの潜在力を最大限に引き出す高付加価値製品の開発に日々注力していきます。

● シマノ鈴鹿ロード

Shimano "Suzuka" Road

シマノ鈴鹿ロードは、モータースポーツの聖地「鈴鹿サーキット国際レーシングコース」を舞台に、ビギナーからベテラン、エリートクラスまで全国から延べ約15,000人のサイクリストが集結する大会です。

レース以外にもサイクリストのためになるバラエティーに富んだ内容が好評の「知得講座」や初心者のためのレース講習会などを開催します。また、協賛企業様の出展ブースが多く、参加者が新製品や新機能をいち早く体感することができることも、この大会の魅力の一つになっています。

シマノ鈴鹿ロードは、自転車文化の向上を目的の一つに始まり、今年で31回目を迎えることができました。現在では、このスピリットを受け継ぎ、自転車文化新興国で自転車文化の向上につながるイベントが開催されています。



子ども向け講習会の風景



2時間エンデューロのレース風景

LIFE CREATION SPACE

OVE

散走フォーラム・散走体験会～岡山県真庭市編～

シマノは東京と大阪にあるLIFE CREATION SPACE OVEを通じて、散走という新しい自転車の楽しみ方を提案しており、6月にバイオマスタウン構想を掲げる岡山県真庭市の蒜山地方で2日間にわたって開催された「散走フォーラム・散走体験会」に協力させていただきました。

初日は散走のコンセプトを共有し、また自転車と健康との関係を学んだ上で参加者が各グループに分かれ、蒜山地方にある資源（ヒト、モノ、コト）をもとに散走コースを作成。2日目は実際に皆で作成したコースで散走体験を行いました。参加者からは散走体験を通じて地元の魅力を再発見できたなどさまざまなお声をいただきました。今後も自転車文化のさらなる発展と創造を目指す活動を続けてまいります。



各グループで作成した散走コースをお互いに発表します



自分たちで作った散走コースを実際に走ってみます

● 釣り文化情報誌「フィッシング・カフェ」が、「BtoB広告賞PR誌の部」銀賞受賞



全国の図書館で閲覧いただけます。また書店でもお買い求めいただけます。

釣り文化事業である「フィッシング・カフェ プロジェクト」の基幹誌として2000年12月から発行している釣り文化情報誌「フィッシング・カフェ」が、2014年6月に、一般社団法人日本BtoB広告協会が主催し、経済産業省が後援する第35回日本BtoB広告賞の「PR誌の部」において、銀賞を受賞しました。

同広告賞は、国内唯一の産業広告コンテストで、毎年、新聞・雑誌広告を含む数多くのエントリー作品の中から、各部門において制作技術力やコミュニケーション活動が優れている作品を表彰しているものです。

今回の受賞は、本誌が創刊以来、長年にわたってクオリティーの高い編集内容を維持し発行を続けることで、従来あまり着目されていなかった釣りの文化的側面に焦点をあて、アピールすることで、釣りファン以外の人々にまで広く、文化的、社会的視点から釣りの新しい発見や楽しさを伝える制作姿勢が評価されたものです。雑誌を構成する美しい写真のクオリティーの高さや、作家など著名執筆陣の香り高い語りなど、内容、デザインにおいても高い評

価を受けました。雑誌「フィッシング・カフェ」の受賞は、過去の金賞受賞を含め6度目となります。

フィッシング・カフェ プロジェクトとは

新しい釣り文化の創造を目指してスタートしたプロジェクトです。本誌に加え、ホームページ「フィッシング・カフェ」でメイキングコラムを掲載、インターネットを通じて釣り文化を発信しているほか、BS TVで釣りビジョン番組「フィッシング・カフェ」を放映しています。

そして、本誌はその一環として2000年12月に創刊され、「釣り」を取り巻く文化的側面を毎号、特集として取り上げており、2014年4月発行号で47号となります。

【日本BtoB広告賞(旧日本産業広告総合展)受賞履歴】

2001 日本産業広告総合展	PR誌の部	金賞
2002 日本産業広告総合展	PR誌の部	金賞
2004 日本産業広告総合展	PR誌の部	銀賞
2005 日本産業広告総合展	PR誌の部	金賞
2006 日本BtoB広告賞	PR誌の部	金賞

● 写真投稿型WEBサイト「キハダ祭り」を7/1～10/31の期間で開催

これまで「キハダマグロ」といえば、南海に遠征を行い狙う、いわば夢のターゲットでしたが、3年ほど前から船市場の一大商圈である関東圏の相模湾でカツオとともに本格的にターゲットとして狙う遊漁船が姿を見せ始め、昨年は一大フィーバーを巻き起こしました。

今年は、ビーストマスター 6000および9000、チェルマーレ ロッソにアルシエラ キハダなどキハダマグロに関する釣具も順次、発売しております。

さらにシマノでは、シマノ製の船用ロッドもしくは電動リールで釣り上げたキハダマグロと一緒に撮った写真をWEBサイト上に投稿していただいた方に、もれなく特製キハダハンター Tシャツを差し上げるキャンペーン「キハダ祭り」(期間：2014年7月

1日～10月31日)を開催中です。

キハダ市場を盛り上げると同時に、シマノがキハダ市場に注力していることを強くアピールし、店頭商品の販売促進を図ります。

キハダ祭り特設サイト

http://fishing.shimano.co.jp/fishingcate/32/kihada_fes/index.html



● シマノへらドリムゲーム:釣りの裾野を広げるための活動

入門者には敷居が高いと言われる「へらブナ釣り」の門戸を広げ、一人でも多くの方々にその楽しさを味わっていただきたく、シマノは初の試みとして「シマノへらドリムゲーム」を企画・開催しました。

本ゲームのキャッチフレーズは「奇跡は起こる!誰もが優勝のチャンス!」。順位は釣り上げた総重量ではなく、5枚のみの重量で決定します。その5枚は釣り上げた瞬間にキープかリリースかを判断するという運の要素も備えたスリリングなゲームです。

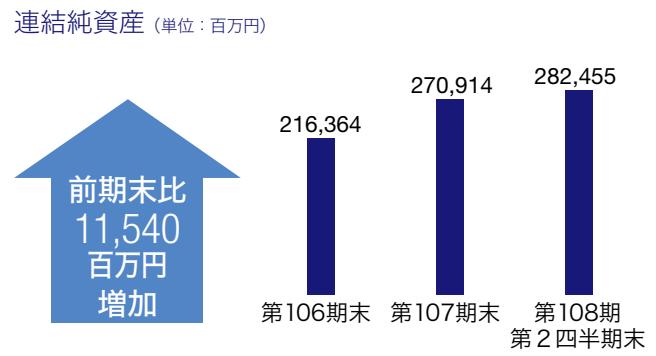
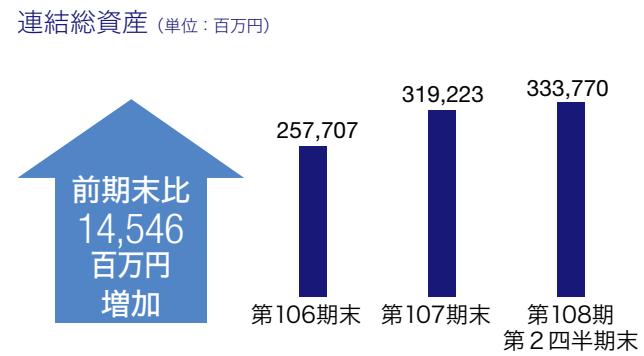
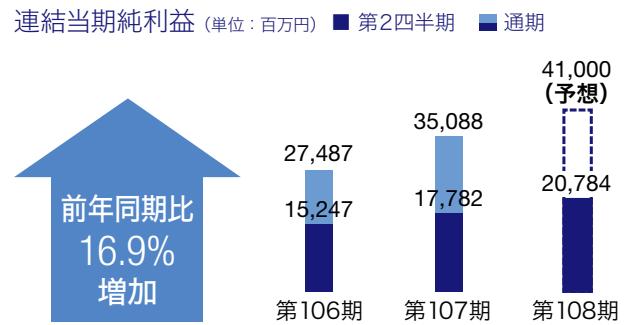
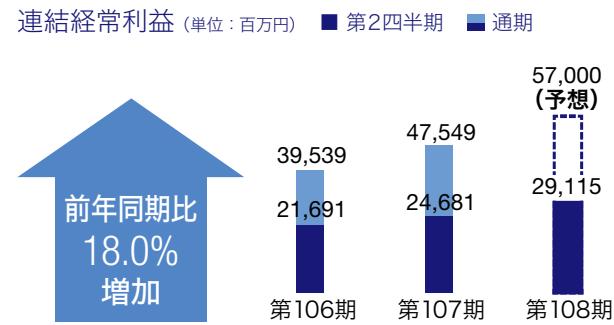
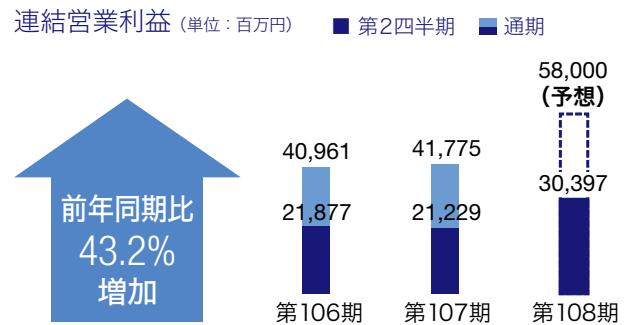
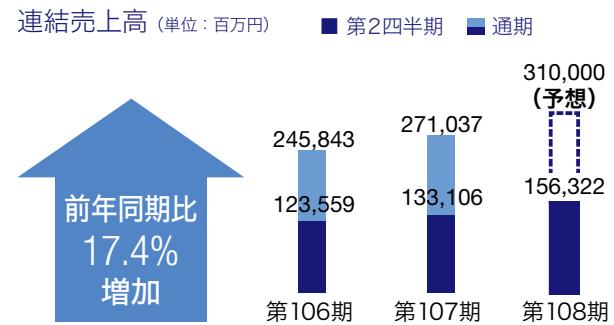
また、目玉はシマノの人気ロッドを貸し出す「プレミアムサポート」に加え、へら釣り界を代表するインストラクター 8名による「ドリムレッスン」です。レッスンは参加者全員に質疑応答やアドバイスをはじめ、しかけやエサ作り、実釣のサポートなどの機会

を、8回(8名全員)×5分間ご提供する形式で行いました。

本ゲーム終了後、参加された方々から好評価をいただくことができました。今後もこうしたアイデアで、釣りの楽しさをもっと多くの方々に体験していただきたいと思っています。



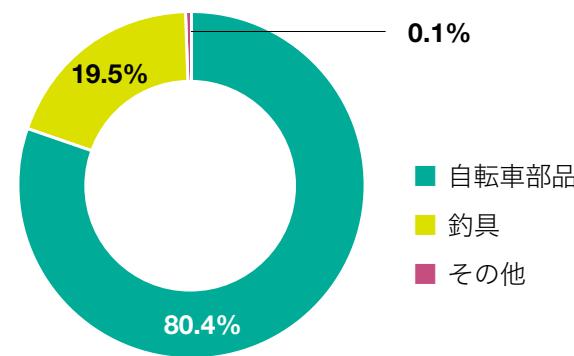
参加者(左)のリクエストに応えインストラクター(右)が実際に竿を握り直伝のアドバイスを行っています。



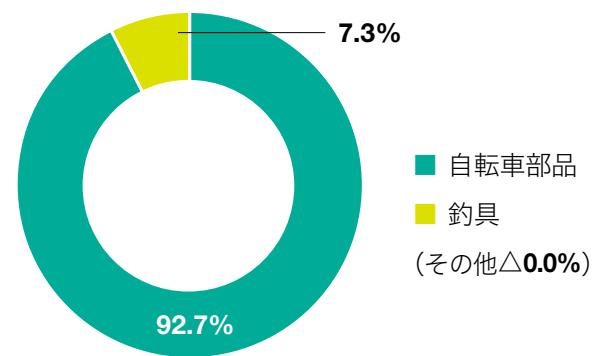
■ セグメント別の売上高と営業損益の状況

第108期 第2四半期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	125,709	18.5%	28,167	38.7%
釣具	30,404	13.4%	2,237	125.7%
その他	207	8.4%	△7	—%

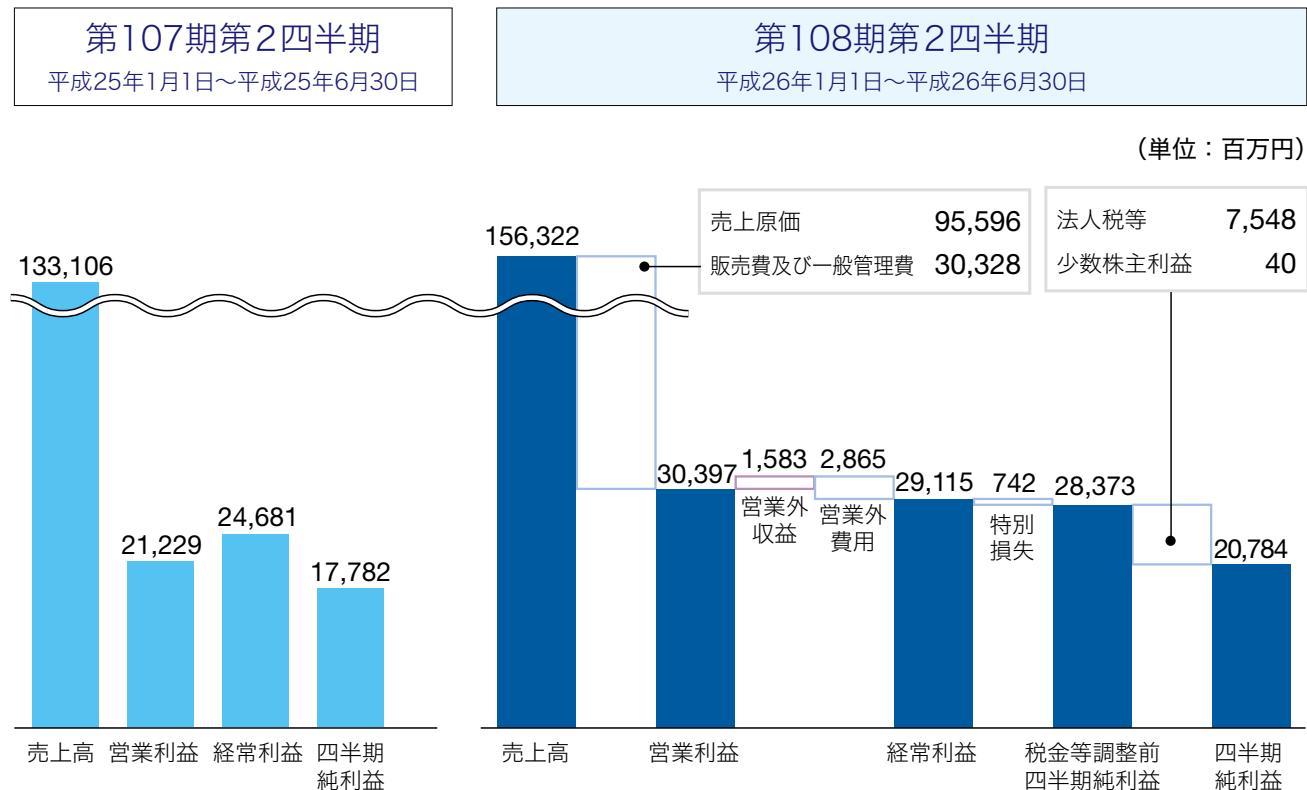
セグメント別の売上高比率(第108期第2四半期)



セグメント別の営業利益比率(第108期第2四半期)



■ 連結損益計算書 (要約)



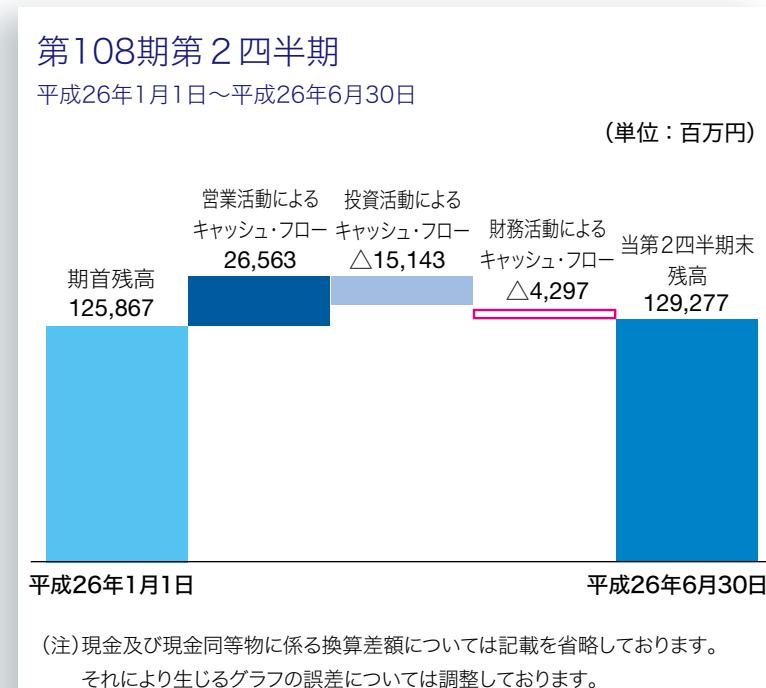
第108期予想 (連結)

	業績予想		セグメント別売上高予想	
売上高	3,100 億円	前期比 14.4%増	自転車部品	2,506 億円 前期比 15.3%増
経常利益	570 億円	前期比 19.9%増	釣具	590 億円 前期比 10.5%増
当期純利益	410 億円	前期比 16.8%増	その他	4 億円 前期比 6.4%増

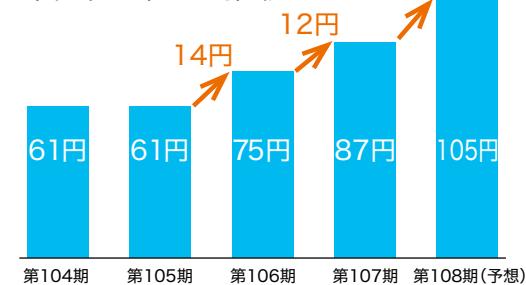
■ 連結貸借対照表 (要約)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



年間配当金の推移

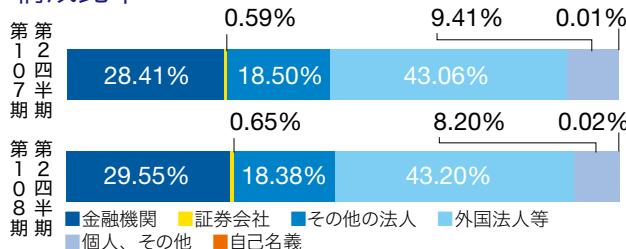


第108期の第2四半期配当金は、1株当たり9円増配の52円50銭 (うち特別配当46円25銭) とし、年間配当予想額を1株当たり18円増配の105円とする予定です。

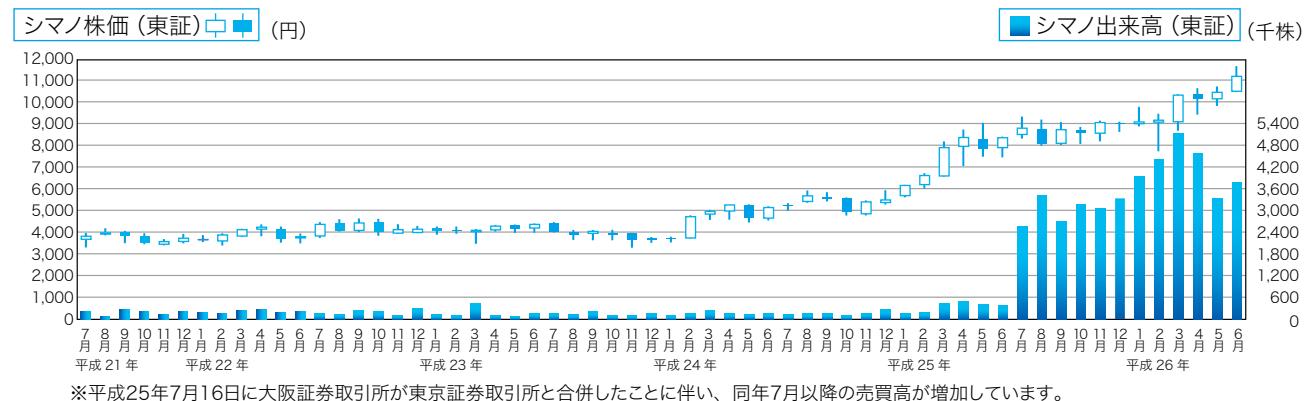
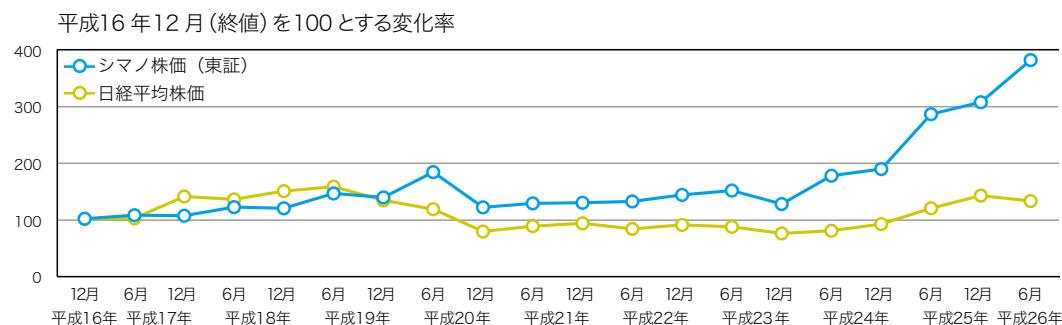
今後も、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題ととらえており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を目指してまいります。

- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式総数 92,720,000株
- 株主数 5,947名
- 単元株式数 100株

構成比率



株価チャート



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,400	7.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	6,535	7.05
太陽工業株式会社	4,040	4.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,019	4.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,952	4.26
株式会社スリーエス	2,171	2.34
CBNY-CHARLES SCHWAB FBO CUSTOMER	2,157	2.33
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,066	2.23
株式会社りそな銀行	1,711	1.85

(注)持株比率は自己株式(14,851株)を控除して計算しております。

社名 株式会社シマノ
 英文社名 SHIMANO INC.
 創業年月 大正10年(1921年)2月
 設立年月 昭和15年(1940年)1月
 資本金 35,613百万円
 事業内容 自転車部品、釣具、冷間鍛造品およびロウイング関連用品等の製造販売
 本社 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
 URL www.shimano.com

役員

代表取締役社長	島野容三	取締役	豊嶋敬
代表取締役専務取締役	角谷景司	取締役	人見康弘
専務取締役	渡会悦義	取締役	チアチンセン
専務取締役	和田伸司	取締役	松井浩
常務取締役	湯浅哲	社外取締役	一條和生
常務取締役	平田義弘	常勤監査役	島津孝一
取締役	島野泰三	常勤監査役	勝岡秀夫
取締役	樽谷潔	社外監査役	松本五平
取締役	津崎祥博	社外監査役	野末佳奈子

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月下旬に開催いたします。	株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	電話照会先	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (http://corporate.shimano.com/financial/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
		証券コード	7309